

日本地衣学会

No.78

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次 日本地衣学会第6回大会報告／小幡 斉……………279

日本地衣学会第6回大会報告

Report of the 6th Annual Meeting of the Japanese Society for Lichenology / by Obata A.

小幡 斉（大会実行委員長）

7月7～8日に関西大学吹田キャンパス（大阪府吹田市）講義室において、日本地衣学会第6回大会および公開シンポジウムを開催した。参加者は、一般会員29名、学生会員4名、海外会員3名、非会員7名の計43名であった。大会初日の7日の午後に総会が開かれた。

関西大学化学生命工学部の小幡が議長に選出され、山本会長の挨拶があった。小峰庶務幹事より2006年度活動

動報告および2007年度事業計画遂行状況の説明があった。その後、いくつかの報告・協議事項の説明があり、その中に第7回大会の開催地（秋田）の報告があった。また、Jiang-Chun Wei氏が名誉会員として承認された。

総会に引き続き、「生物の共生関係の多様性」と題して公開シンポジウムが開催された。なお、シンポジウムのテーマの選定は

開催地での提案として庶務担当の河原が行った。生物の共生関係のうち、地衣類と非常に近い菌根菌およびラン藻に関する共生に絞ってシンポジウムをアレンジした。この公開シンポジウムには、関西大学の学生15名と一般参加者2名も聴講した。初めに、服部武文氏（京都大学）が「木材腐朽菌と外生菌根菌の炭素代謝機構の差異」と題し、菌根菌特有な炭素代謝機構について講演した。次



図1. シンポジウムの一コマ。演者は服部武文氏。



図2. 懇親会にて、乾杯の前に山本会長の挨拶。

の物質について講演した。最後に岡本達哉氏(高知大学)が「地衣類における共生」と題して、地衣類の共生関係を判りやすく解説し、共生関係を再考するのに適した講演であった。各講演終了時に、質疑応答の時間を設けたが、各講演とも活発な討論ができたと思われる。地衣とは異なる分野からシンポジウム講演を快く引き受け、興味ある情報を提供していただいた服部氏、寺下氏、小林氏に感謝を申し上げる。

シンポジウム終了後、関西大

学百周年記念館の紫紺で懇親会が開かれた。35名ほどの参加があり、和やかに互いの懇親ができた。

翌日の午前は研究発表が一般講演として、口頭形式で行われた。研究分野は、各地域における日本の地衣類の分布調査、および地衣体、地衣菌の培養など9演題が発表された。

昨年と同様に、午後の一般講演の前にミニシンポジウムを開催した。オーガナイザーの山本好和氏が「アジア産地衣類の分類学的最新研究」の趣旨説明を行った。そして、Wei氏が「Taxonomic study on lichen genus *Hypogymnia* in China」という題で、中国に分布するフクロゴケについて、高橋奏恵氏が「アジア産ヨロイゴケ属の分類」という題で講演された。講演終了後も活発な議論が行われた。コーヒーブレイク後、一般講演(午後の部)が行われた。地衣類の光合成、代謝、および二次代謝物などの計9題が発表された。

学会の最後に、秋田県立大学生物資源学部の山本好和氏が次回の開催の案内をして、来年の第7回大会(秋田)での再開を約束して解散した。



図3. 韓国 Sunchon 大学からの参加者。会長(左から順に)より、Hur 氏、Wei 氏、Luo 氏が紹介される。

に、寺下隆夫氏(近畿大学)が「菌根菌マツタケはなぜ人工栽培が難しいのか、その核心に迫る」と題し、マツタケに発見した β -グルコシダーゼの特徴について紹介し、地衣菌の研究において非常に参考になる情報を提供していただいた。小林昭雄氏(大阪大学院)が「緑の地球の古今の立役者—ランソウと遺伝子改変植物—」と題して、地衣類の共生体の片方であるラン藻であるネンジュモ

今回初めて関西大学で日本地衣学会の年次大会を行ったが、参加者全員が活発な討論をしてもらい、大変有意義な会となった。このように大会を成功に治めることが出来たのは本大会の参加者全員のおかげであり、感謝申し上げます。

* * *



図4. 一般講演. 演者は小杉真貴子氏.

プログラム

7月7日(土)

10:00-12:00 評議員会

13:00-14:50 日本地衣学会総会

15:00-15:05 山本好和会長挨拶

15:05-17:45 **公開シンポジウム「生物の共生関係の多様性」** / オーガナイザー 河原秀久

木材腐朽菌と外生菌根菌の炭素代謝機構の差異 / 服部武文(京都大) / 座長 佐藤和彦(兵庫県立大)
菌根菌マツタケはなぜ人工栽培が難しいのか、その核心に迫る / 寺下隆夫(近畿大) / 座長 山本好和(秋田県立大)

緑の地球の古今の立役者 - ランソウと遺伝子改変植物 - / 小林昭雄(大阪大院) / 座長 河原秀久(関西大)

地衣類における共生 / 岡本達哉(高知大) / 座長 原田浩(千葉県中央博)

18:00-19:45 懇親会 / 100周年記念会館 紫紺

7月8日(日)

9:30-12:00 **一般講演** (午前の部)

A1) 東アジア産ハリガネキノリ属地衣類の分類学的検討(2) / 原田 浩¹, 王 立松²(千葉県中央博,²中国科学院昆明植物研)

A2) 丹沢・大山の地衣—その3 丹沢山で見つかったヒロハセンニンゴケ属(*Baeomyces*) について / 木下靖浩¹, 原田 浩²(¹日本ペイント,²千葉県中央博)

A3) 愛媛県で見つかった分布上興味深い地衣類 / 川又明德(愛媛県総合科学博)

A4) 高知市における地衣フロラ調査 / 岡本達哉, 大島せつな(高知大・理・自然環境)

A5) 地衣類の微小片からの再生実験 / 佐藤穂高, 小野静佳, 小峰正史, 高橋奏恵, 原光二郎, 山本好和(秋田県大・生物資源)

A6) 共生藻の分類培養における抗生物質の効果 / 国友 泰¹, 本田典子², 中島裕之²(久留米高専, 生応化)

A7) 頭状体を有する地衣における乾燥応答について / 小杉真貴子, 菓子野康浩, 小池裕幸, 佐藤和彦(兵庫県大・院・生命理)

A8) 培養地衣菌の高濃度ショ糖ストレス応答 / 臼庭雄介, 高橋奏恵, 原光二郎, 小峰正史, 山本好和(秋田県大・生物資源)

A9) 地衣菌の耐凍性・耐高温乾燥性スクリーニング / 成田朱望, 高橋奏恵, 原光二郎, 小峰正史, 山本好和(秋田県大・生物資源)

13 : 15-14 : 15 ミニシンポジウム「Taxonomical Approach in Asian Lichens—アジア産地衣類の分類学的最新研究」/ オーガナイザー 山本好和 (秋田県大・生物資源)

Taxonomic study on lichen genus *Hypogymnia* in China / Wei X. (Korean Lichen Research Institute, Sunchon National Univ., Korea)

アジア産ヨロイゴケ属の分類 (Taxonomic revision of the genus *Sticta* in East Asia) / 高橋奏恵 (秋田県立大・生物資源)

14 : 30-16 : 45 一般講演 (午後の部)

B1) 乾燥地衣類の光合成機能 : レーザー高速分光学法による地衣類独自の光エネルギー散逸機構の発見とその多様性 / ○小村理行¹, 岩崎郁子², 山本好和², 伊藤 繁¹(¹名大・院・理, ²秋田県大・生物資源)

B2) 地衣類共生ラン藻の地衣体内 3 次元的分布と水・光ストレス耐性機構 / ○岩崎郁子¹, 小村理行³, 鈴木英治¹, 佐藤 朗², 藏野憲秀², 原光二郎¹, 小峰正史¹, 山本好和¹, 伊藤 繁³(¹秋田県大・生物資源, ²海洋バイオテクノロジー研究所, ³名大・院・理)

B3) 地衣類の二次代謝に関わる遺伝子の単離 / ○原光二郎, 小野元気, 高橋奏恵, 小峰正史, 山本好

和 (秋田県大・生物資源)

B4) Cytotoxic activity of some Chinese lichen extracts in human cancer cell line / OHur J.-S, Yee S.-T., Kou Y.-J. (Dept. of Environmental Education, Sunchon National Univ., Korea)

B5) Antioxidant activity of some Chinese lichens *in vitro* / OLuo H., Han K.-S., Hur J.-S (Dept. of Environmental Education, Sunchon National Univ., Korea)

B6) 地衣類イワタケおよびハナゴケより得られる新規生理活性物質 / ○橋本敏弘, 國土直樹, 矢野華恵, 吉川和子, 梅山明美, 在原重信 (徳島文理大・薬)

B7) *Cladonia bellidiflora* 培養地衣菌の黄色色素 / ○木下 薫¹, 小山清隆¹, 高橋邦夫¹, 原光二郎², 山本好和²(¹明治薬大, ²秋田県大・生物資源)

B8) 食用地衣菌の成分分析と新規培養法 / ○奥田智子¹, 竹村友伸¹, 河原秀久¹, 小幡 斉¹, 山本好和² (¹関西大・生物工, ²秋田県大・生物資源)

B9) 地衣類の HPLC 分析からの得られた新たな知見 2 / ○山本好和¹, 高橋奏恵¹, 原光二郎¹, 小峰正史¹, 原田 浩² (¹秋田県大・生物資源, ²千葉県中央博)

16 : 45~16 : 50 次回開催者挨拶
閉会の辞 山本好和会長

●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌62号222ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 62, p. 222 of this publication.

●*Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 78, pp. 279-282: eds. Harada H. & Kinoshita K., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 10 August 2007.

日本地衣学会ニュースレター 78号

発行日 : 2007年 8月 10日

編集 : 原田 浩・木下 薫

発行者・発行所 : 日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城中野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内

©2007 日本地衣学会 (© 2007 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。